

エコアクション21 環境活動レポート



- I ・ 事業活動の概要
- II ・ 認証・登録の範囲
- III ・ 環境方針
- IV ・ 環境目標とその実績
- V ・ 主要な環境活動計画・実績・評価
・ 次年度の取組内容
- VI ・ 環境関連法規等の遵守状況の確認・評価
及び違反・訴訟等の有無
- VII ・ 代表者による全体評価と見直しの結果

発行 2024年 7月 8日

2023年度（活動期間 2023年6月～2024年5月）

株式会社 落合製作所



I. 事業活動の概要

1) 事業者及び代表者

株式会社 落合製作所

代表取締役 落合敏宏

2) 所在地

千葉県松戸市上本郷 1 7 6 番地

3) 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

責任者 林 尚史

担当者 徳光高明

連絡先 TEL 0 4 7 - 3 6 3 - 5 2 6 5

FAX 0 4 7 - 3 6 5 - 4 4 6 0

4) 事業の内容

機械部品などの板金、プレス、機械加工、溶接及び塗装並びに金型の製作

5) 事業の規模

事業年度：2012年度まで開始時期 1月～終了時期 12月

EA21年度：2012年度②より開始時期 6月～終了時期 翌年の5月

活動規模	単位	2012年②	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
売上高	百万円	485.72	515.06	579.37	513.6	531.33	581.76	691	489.5
従業員数	人	29	29	26	27	28	27	24	24
事務所延べ面積	m ²	6,289	6,289	6,289	6,289	6,289	6,289	6,289	6,289
活動規模	単位	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年
売上高	百万円	501.9	625	770	670				
従業員数	人	25	24	29	29				
事務所延べ面積	m ²	6,289	6,289	6,289	6,289				

Ⅱ. 認証・登録の範囲

1. 事業所

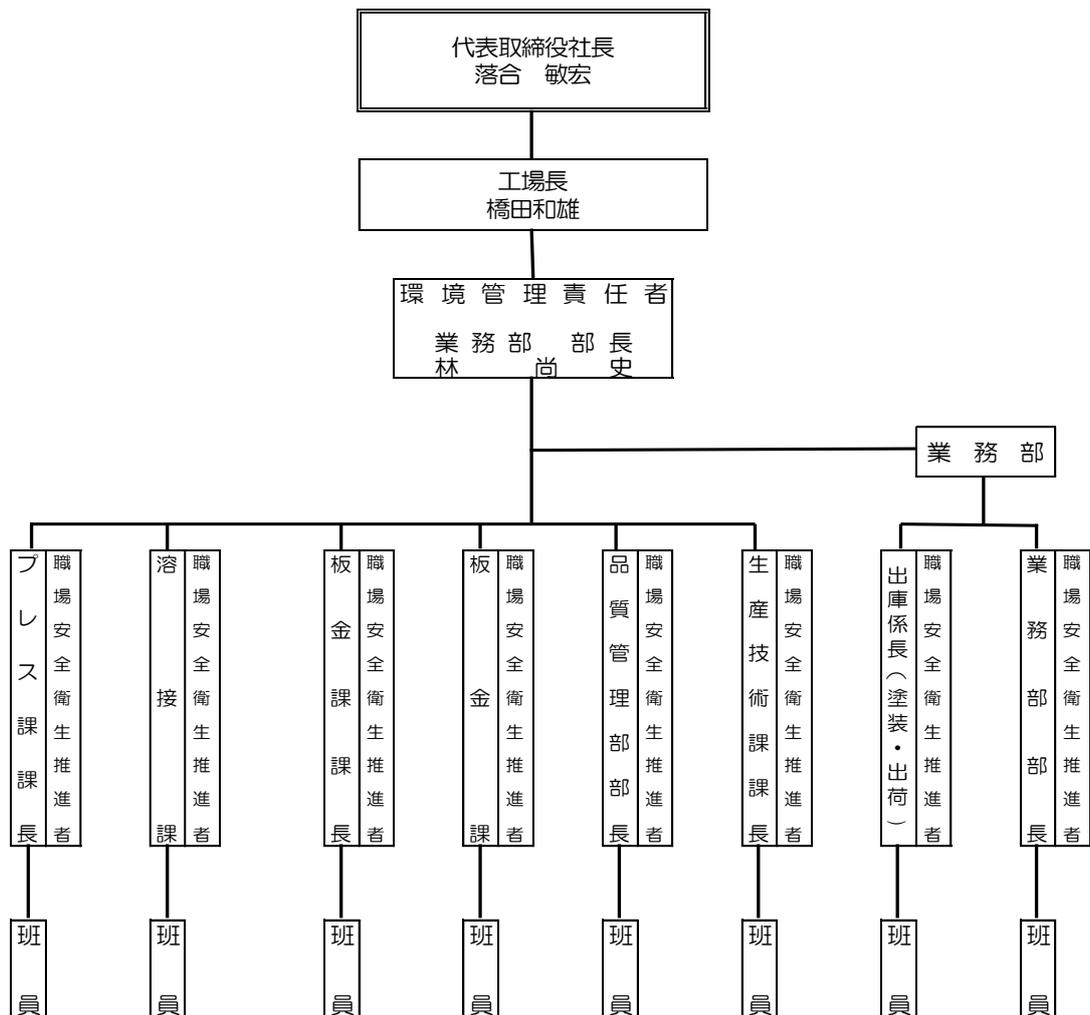
本社・事業所	千葉県松戸市上本郷176番地
--------	----------------

2. 事業内容

事業内容	機械部品などの板金、プレス、機械加工、溶接及び塗装並びに金型の製作
------	-----------------------------------

認証登録範囲において、除外しているものではありません。

株式会社落合製作所 EA21 組織図



Ⅲ. 環境方針

環境方針

株式会社落合製作所は、機械部品等の板金、プレス及び機械加工を主とする活動において、あらゆる生命を維持して行くために、事業活動の一環とし、信頼ある企業めざし、積極的に環境保全活動を行います。

基本方針

- 1 事業活動における適用される環境に関連する法規制、条例及び当社が同意したその他の要求事項を遵守します。
- 2 経営における課題とチャンスに取り組んでいきます。
- 3 以下の環境に影響を与える側面について適正に管理し、必要により改善を進めていきます。
 - ①廃棄物の削減とリサイクル処理の最新情報を入手し適切に対応する。
 - ②電気使用等における化石燃料使用と二酸化炭素排出量の削減をする。
 - ③化学物質の適切な管理に努める。
 - ④プレス作業等における資源生産性の向上に努める。
- 4 全従業員が環境保全活動を認識し、責任ある行動を推進します。
- 5 事業活動における環境問題に対し目標を定め継続的な改善活動に取り組めます。
- 6 環境方針は、全従業員に周知すると共に、社外に公開します。

2020年1月1日
株式会社落合製作所
代表取締役 落合敏宏

IV.環境目標とその実績

第VI期（2021年度～2023年度）環境目標一覧表

NO	目標項目			目標と実績								
				21年度(21.6～22.5)			22年度(22.6～23.5)			23年度(23.6～24.5)		
	項目	単位	基準	目標	実績	目標達成率%	目標	実績	目標達成率%	目標	実績	目標達成率%
1	流出不良の削減	件	2018年度実績157	108	108	100%	108	100	108%	102	55	185%
		%	対基準年改善率%	31	31		31	36		35	65	
2	電気使用量の削減	KWh/百万円	05年実績1,038	900	678	133%	800	435	141%	750	601	125%
		%	対基準年改善率%	13	35		23	58		28	42	
		KWh	参考	423,852			435,369			405,010		
3	自動車燃料の使用量削減	L/百万円	05年実績44	8.8	3.1	285%	6.0	2.1	285%	5.00	1.99	252%
		%	対基準年改善率%	80	93		86	95		88	95	
		L	参考	1,928			1,620			1,338		
4	二酸化炭素の排出量の削減	kg-CO2/百万円	14年実績575kgCO2/百万円	500	295	169%	400	267	150%	350	287	122%
		%	対基準年改善率%	13	49		30	54		39	50	
		kg-CO2	参考	184,643			205,828			193,230		
5	水の使用量の削減(県水+地下水)	m ³ /百万円	07年度実績9.2	5.0	4.0	126%	5.0	5.4	92%	5	3.9	129%
		%	対基準年改善率%	46	57		46	41		46	48	
		m ³	参考	2,487			4,188			2,609		
6	廃棄物(一廃+産廃)の削減	kg	08年実績31,300	21,910	20,423	107%	21,910	21,205	103%	21,910	21,234	103%
		%	対基準年改善率%	30	35		30	32		30	32	
7	資源生産性の向上(投入材料に対する製品重量の割合の向上)	%		70%以上	72	102%	70%以上	74	106%	70%以上	70	100%
8	塗料の適切な現場管理			保管量5S	問題なし	○	保管量5S	問題なし	○	保管量5S	問題なし	○

注) 第IV期より二酸化炭素排出係数を従来の0.464から平成25年度東京電力実排出係数の0.531kg-CO2/kWhに変更した。

第Ⅶ期（2024年度～2026年度）環境目標一覧表

NO	目標項目			目標と実績								
				24年度(24.6～25.5)			25年度(25.6～26.5)			26年度 26.6～27.5)		
	項目	単位	基準	目標	実績	目標達成率%	目標	実績	目標達成率	目標	実績	目標達成率
1	流出不良の削減	件	2018年度実績157	100			97			94		
		%	対基準年改善率	36			38			40		
2	電気使用量の削減	KWh/百万円	05年実績1,038	727			706			685		
		%	対基準年改善率	30			32			34		
		KWh	参考	/	/	/	/	/	/	/	/	/
3	自動車燃料の使用量削減	L/百万円	05年実績44	4.4			4.4			4.40		
		%	対基準年改善率	90			90			90		
		L	参考	/	/	/	/	/	/	/	/	
4	二酸化炭素の排出量の削減	kg-CO2/百万円	14年実績575kgCO2/百万円	333			333			333		
		%	対基準年改善率	42			42			42		
		kg-CO2	参考	/	/	/	/	/	/	/	/	
5	水の使用量の削減(県水+地下水))	m ³ /百万円	07年度実績9.2	5.0			5.0			5.0		
		%	対基準年改善率	46			46			46		
		m ³	参考	/	/	/	/	/	/	/	/	
6	廃棄物(一廃+産廃)の削減	kg	08年実績31,300	21,910			21,910			21,910		
		%	対基準年改善率	30			30			30		
7	資源生産性の向上(投入材料に対する製品重量の割合の向上)	%	/	70%以上			70%以上			70%以上		
8	塗料の適切な現場管理	/	/	保管量5S			保管量5S			保管量5S		

V. 主要な環境活動計画・実績・評価 ・次年度の取組内容

◎目標達成 ○基準年比改善されてきている △基準年比横這い ×基準年比悪化している

目 標 項 目	項 目	具 体 的 な 取 組 内 容 と 評 価	評 価 結 果
不良流出の削減	総合所見	不良流出は前年度から半減した。主な要因は人の変更が少なくヒューマンエラーが減少した。目標達成率は185%であった。	◎
	活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・不良流出した場合の是正処置の徹底を行った。 ・新人などの教育・作業手順書の見直しを行い再教育を行なった。 ・新規図面など注意コメントなど作業手配書に記入。 	
	次年度の取組み	・上記の活動を継続していく。	
電気使用量の削減 (売上高百万円当たり 05年実績：1,038kwh比)	総合所見	・電気の使用量は前年比10%程度減少し目を達成している。売上高は前年比13%減少したが、売上高原単位目標は125%の達成率となり大きく改善した。	◎
	活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・まめな照明のON, OFFと・昼休みの消灯の徹底 ・エアコンの温度設定：冬22℃夏26℃ ・晴れた日は水銀灯を付けない 	
	次年度の取組	継続した取組みとし次年度の目標値を高く設定した。	
自動車燃料の使用量削減(売上高百万円当たり 05年実績：44リットル比)	総合所見	・自動車燃料使用量は、コロナ禍による打合せのオンライン化、外出の抑制などがコロナの影響が無くなった現在も継続し前年比5%と減少し、売上高原単位の目標は252%の達成率となり大きく改善した。	◎
	活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・打合せのオンライン化による走行機会の削減取組とエコドライブの更なる徹底 ・車に啓発用語の貼付 ・車輛燃料使用量(燃費の向上)は、アイドリングストップ ・社用車1台ハイブリッドの優先的運用 	
	次年度の取組	・コロナ禍は収束しつつあるが、オンライン会議などの継続など外出機会の減少を引き続き取組む。	
二酸化炭素の排出量の削減(売上高百万円当たり05年実績：0.65トン-CO2比)	総合所見	・前述した電気及び自動車燃料使用量の削減により、売上高原単位による二酸化炭素排出量は、目標達成率122%と高水準となった。	◎
	活動内容	・電気、自動車燃料の活動実績に基づく	
	次年度の取組	・電気、自動車燃料の取組参照のこと。	
水の使用量の削減 (08年度実績：9.2㎡/百万円比)	総合所見	・水の使用量は前年比48%減少し、売上高原単位における目標達成率は129%と大きな達成率となった。	◎
	活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・節水シールを貼付、節水コマの取付 ・水漏れチェック ・製造工程(地下水)における水使用改善 ・水削減の喚起を行った。 	
	次年度の取組	・継続した活動とする。	
廃棄物の削減07年実績：31,300kg比	総合所見	・廃棄物排出量は前年比概ね変わらずで、目標達成率103%となった。	◎
	活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・業者の選定 ・分別、削減、リサイクルの教育 ・廃棄物排出を抑制する製造方法(段ボールなどの循環利用の徹底) 	
	次年度の取組	今後も廃棄物を出さない仕組み作りに尽力する。	
資源生産性の向上：投入材料に対する製品重量の割合の向上 70%以上	総合所見	・廃棄物排出量は前年比概ね変わらずで、目標達成率100%となった。	◎
	活動内容	材料の原反寸法見直しによる運用、部品取りの工夫、端材の利用など	
	次年度の取組	歩留まりお考え次年度も引き続き、今年度の取り組みを継続し資源生産性を高めていきたい。	
塗料の適切な現場管理	総合所見	購入量も維持されており、SDSの最新版を入手し適切な管理ができた。	◎
	活動内容	SDSの整備、整理整頓の徹底、在庫の適正化	
	次年度の取組	今後も一層のきめ細かい管理をしていく。	

VI. 環境関連法規等の遵守状況の確認・評価 及び違反・訴訟等の有無

- ・関係当局よりの違反・訴訟等の指摘は過去にも一度もありませんでした。
- ・関連する法規に関しては、自らが定期的に順守状況をチェックし、その結果は、下記のとおりとなりました。PRTR対象物質の使用量は1トン未満のため、国への報告義務は発生しなかった。

活動内容	適用法令	評価結果
生活系、工程系排水	浄化槽法	○
プレス、バンダー作業の騒音・振動	騒音規制法	○
	千葉県条例	○
	振動規制法	○
	千葉県条例	○
加工油、作動油等の保管塗料、シンナー類の保管キシレン、トルエンの使用	消防法	○
	PRTR法（第一種指定化学物質）	○
	悪臭防止法	○
化学物質の使用	労働安全衛生法	○
事業系一般ゴミの排出	廃棄物処理法 松戸市条例	○
産業廃棄物の排出及び管理	廃棄物処理法	○
エアコンのフロン漏洩に関する簡易点検と記録簿の作成及び保管	フロン排出抑制法	○
特定家電の廃棄	家電リサイクル法	○
自動車の廃棄	自動車リサイクル法	○
パソコン、複写機の廃棄	資源有効利用促進法	○

Ⅶ. 代表者による全体評価と見直しの結果

実施日:2024年7月5日

1. EA21ガイドライン、事業活動、環境側面及び経営における課題とチャンス等に関し変更はないことから環境方針の変更は無く従来からの方針を継続します。

2. 今年度の前年比売上げは13%減少したが、電気、自動車燃料及び水の使用量はすべてで減少し、目標である売上高原単位においても目標を全て達成した。全体に生産性の向上と経費削減に効果的な取組となっている。経営における課題とチャンスとして本格的に不良流出件数の低減に取組み基準年の157件であったが今年度は55件までに減少し無駄な活動の減少と環境改善へ繋げる上げることができた。今年度は全て目標を達成し大変いい成績であり、品質向上、コスト削減に寄与することができた。

3. 今後も引続き生産管理の強化と 5 S・J I T活動及びエコアクション21の取組を通して製造における無駄の削減・生産性向上・コストダウンそして環境に配慮し企業の社会的責任を果たしていきたい。

4. 体制の変化は無く、今後も環境経営マネジメントシステムの維持・管理を確り運用していく事としたい。

